

八広 知つて得する はなみずき みまもりだより



2025年11月号

vol. 174

八広はなみずき高齢者
みまもり相談室広報誌

認知症について考えてみませんか？

超高齢社会にともない高齢者の5人にひとりが認知症になると
言われている時代です。地域で安心して自分らしく暮らしていく
ために今から備えておきませんか？



無料！

認知症サポーター養成講座

認知症サポーターは、地域の認知症の人や家族を見守る応援者です。
認知症のことや接し方について学び、
認知症と共に生きることについて考えます。
*受講を希望される方は、みまもり相談室までお問合せください。

認知症の方やご家族などが気軽に
集える場「オレンジカフェすみだ」や、
お互いの悩みや経験を語り合う場の
「はなみずき認知症家族会」などの
活動もしています！

*詳細はハ広はなみずき高齢者支援総合
センターにお問い合わせください。
連絡先:03-3610-6541



【認知症サポーターカード】
受講された方には、認知症サポーターのカードをお渡しします。

介護のこと。認知症のことなど
心配ごとがあればお気軽に
ご相談ください！！



【墨田区委託事業】

ハ広はなみずき高齢者みまもり相談室
03-3614-1465

墨田区八広5-18-23 FAX 03-3610-6590

<相談受付時間> 月～金 9:00～17:00

(土・日・祝日・年末年始休み)

京成線ハ広駅近くの高架下です！



担当: 渡辺・上田・南部・吉松



ホームページ <http://www.san-ikukai.or.jp/sumida/hana/>

家具転倒防止器具・ガラス飛散防止フィルム

大規模地震が発生した際の家具等の転倒事故を防ぐため、家具転倒防止器具等の設置が困難な世帯に対し、取付けを支援しています。

■対象者 墨田区内在住で、次のいずれかに当てはまる方

- ① 満65歳以上の方
- ② 身体障害者手帳1～2級の方・愛の手帳1～3度の方
- ③ 未就学児のいるひとり親世帯の方

■取付けの上限

家具転倒防止器具：14,500円を超えない範囲
(タンス3棹程度)



ガラス飛散防止フィルム：17,500円を超えない範囲
(たたみ1畳分程度)

家具転倒防止器具の一例

■問合せ先

- ① 高齢者のいる世帯：高齢者福祉課 03-5608-6168
- ② 障害者のいる世帯：障害者福祉課 03-5608-6163
- ③ ひとり親世帯：防災課 03-5608-6206

※注意事項

この事業の申請は1世帯につき1回限りとなります。



救急通報システム

通報機のボタンを押すことで受信センターに通報が入り、看護師等の専門スタッフが365日、24時間体制で対応します。急病時の通報では、救急搬送の要請及び警備員の現場派遣を行います。急病時以外でも病気や健康の相談に対応します。あわせて、日常生活をセンサーが感知し、異常の有無を判断して通報する安否確認センサを取り付けることもできます。

※令和7年5月より、固定電話回線が無い方でも携帯電話の所持で利用できる無線型式を導入しました。

1 対象となる方 65歳以上のひとり暮らし高齢者または65歳以上の高齢者のみの世帯の方（日中・夜間に単身、または高齢者のみとなる方も含む。）

2 月額利用料 固定電話回線型式 0円・500円・2,618円
無線型式(SIM内蔵型) 0円・1,100円・3,718円
※利用者の身体状況や所得状況により異なります。

3 問い合わせ先 安否確認センサ 1,000円
墨田区高齢者福祉課支援係（区役所4階）電話：03-5608-6168



- ・無線型式は熱中症アラート機能が付いています。（熱中症の危険があると音声でお知らせします）
- ・ご自宅の鍵を区の指定する警備会社に預けていただきます。（キーボックスの設置でも可）

墨田区在宅療養ハンドブック

「わが家でずっと暮らすために！」

最新版！！



墨田区では在宅療養の事例や自宅で受けられる医療、介護のサービスなどを紹介する、「墨田区在宅療養ハンドブック（第9版）」を作成しました。

在宅療養にかかる費用、介護と仕事の両立のための支援、もしものときのための「人生会議」等を掲載し、在宅療養について分かりやすい内容にしています。ぜひご活用ください！

●配布している所

- ・墨田区役所4階 高齢者福祉課
- ・高齢者支援総合センター
- ・区施設 等

問合せ：高齢者福祉課地域支援係 ☎ 5608-6178



ひとつながる。
墨田区
高齢者福祉課作成